

予定を自ら確認し、1日の生活に見通しを持てるようになるための教材の工夫  
 『今日の予定は何ですか?』ボード

|                               |  |   |   |
|-------------------------------|--|---|---|
| 子どもについて                       | 所属・学年  | 小学校・特別支援学級（自閉症・情緒障がい）・4学年   |   |
|                               | 障がい名等  | 自閉症スペクトラム   |   |
|                               | 子どもの実態<br>(学習上又は生活上の困難さ等)  | 交流及び共同学習を行うことの多い児童である。時間割通り交流学习に行ったにも関わらず、急な予定変更で学級に戻されることもあり、そのような時は感情を乱してしまうことがある。  |   |
| 授業について<br>(教材・教具を使用した授業や指導場面) | 教科名等   | その他   |   |
|                               | 単元(題材)名  | その他   |   |
|                               | 単元(題材)の概要  |   |   |
| 教材・教具<br>支援機器について             | 教材・教具<br>・支援機器   | 「今日の予定は何ですか?」ボード  |  |
|                               | ねらい・工夫点  | <ねらい><br>○ 交流学級における授業について、その日の朝のうちに担任の先生に聞きに行き、予定を教えてもらうことで、時間割との変更があっても見通しをもって生活ができるようにしたいと考えた。<br><工夫点><br>○ 交流学級の担任の先生に、今日の予定を伝えてほしい旨を正しく伝えられるように、教材の右側に「きょうのおべんきょうのよていをおしえてください」「ありがとうございました」という台詞を貼り付けた。<br>○ 予定を貼る欄を2つに分け、特別支援学級で行う学習と交流学級(4-1)で行う学習が視覚的にも分かるようにした。 |   |
|                               | 材料・作成方法等   | ○ A4版ほどのホワイトボードに油性マジックで枠を書く。<br>○ 教科名を書いたカードの裏にマグネットを貼り付ける。   |   |
| 子どもの変容や評価                     | ○ 時間割と異なる予定になっても、朝のうちに教えてもらうことで、1日の学習に見通しを持ち、落ち着いて学校生活を送ることができるようになった。<br>○ 交流学級の先生と毎朝顔を合わせることで、交流学級の先生とのかかわりも増え、交流学习における学習にも安心して取り組むことができるようになった。 |   |   |